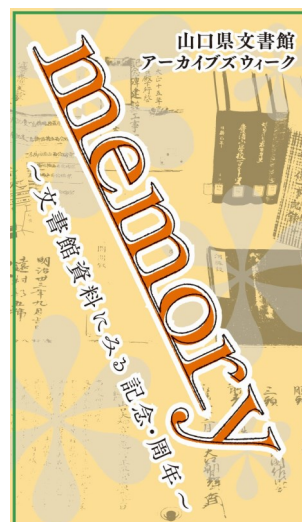
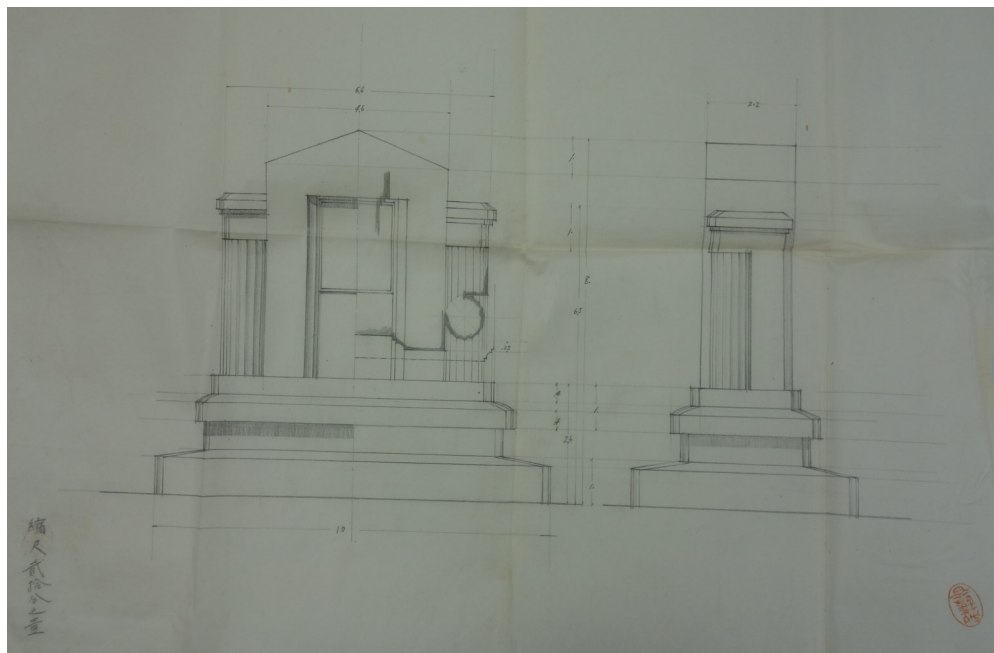




✿ 10

加護谷祐太郎による「行啓記念碑図案」（「東宮殿下行啓記念碑建設工事」県庁戦前B建築課3016）

その日 ⑤

「記憶のよすが」行啓記念の日

《虎ノ門事件》

大正12年(1923)12月の摂政宮襲撃事件は、山口県にとって痛恨の不祥事でした。それ以降、県政のあらゆる局面でくりかえし強調されたのが「思想善導」のフレーズでした。翌年9月21日、六体の旧藩主銅像が取り囲む山口町の亀山山巔で祈誓式が執り行われ、県民の「満腔ノ赤心」が披瀝されました。

《東宮行啓》

時を経て、大正15年、東宮行啓の日を迎えます。山口県にとって、「大不敬事件」の汚名返上の重要局面と位置づけられ、5月29日、県庁舎露台の皇太子の英姿を仰ぎ、森厳なる奉迎式が挙行されました。



◀奉迎式場
（「東宮殿下
行啓記念」写
真 行幸啓6）

《記念碑建立》

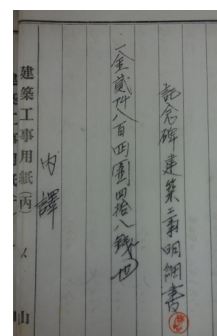
「恐懼措く能はざる」山口県人として、5月29日をメモリアルな日として刻むべく、毎年この日に行啓記念式が催行されることになりました。そしてさらに、その記憶を上書きする装置として記念碑が建立されることになりました。

《記念碑除幕式》

雨中の奉迎式から一年後の昭和2年(1927)5月29日、薫風そよぐ快晴のその日、県庁舎正面に、高さ4尺2寸(約1.3メートル)、小品ながら神殿風の潇洒なデザインにまとわれた記念碑がその姿を現しました。



◀行啓記
念碑現状



工事明細書
(県庁戦前B建築課3016)

記念碑建設は内務部土木課で統括されました。起案文書をはじめ設計者との往復書翰には、建築技手岩崎延雄の署名や印鑑が見られます。岩崎は明治末期から戦後直後までの永きに亘って県営繕に足跡を残した建築技師です。旧県庁舎建設事業に関与していたほか、初代山口図書館長佐野友三郎の推挙で旧岩国町立図書館の設計にもあたっています。

設計者はザベリヨ記念碑と同じく、東京市建築技師の加護谷祐太郎です。東京帝国大学建築科出身の加護谷は、明治期の東大寺大仏殿修理、関東大震災後の浅草寺復興の指導者として知られています。大正12年竣工の日本赤十字社山口支部病院の工事顧問技師として山口の近代建築史上にもその名をとどめています。

記念碑の基礎には小野田セメントが用いられました。碑石には山口県の特産品としてその名を知られていた秋吉産大理石が用いられました(美祢郡秋吉村鹿取彦七請負)。碑文が浮き彫りにされた銅板は大阪の造幣局で製作されたものでした。工事報告文によれば、「全体規模は宏大ならずといえども熱誠なる百万県民の絶大なる光栄を浴したると共に感恩報公の誠を盡し以て万古に不異ならしむことを期す」という設計コンセプトでした。

加護谷技師は帝都復興院にも在籍していました。そのつながりで、横浜山下公園や神宮外苑整備のプランナーとして高名であった造園技師折下吉延から、景観についてのアドバイスもあったようです。記念碑の設計には、周辺の景観との調和にも意が注がれていたのです。

《行啓記念式と行啓記念碑除幕式》

議事堂前庭での行啓記念式に続いて、庁舎前庭で記念碑除幕式が挙行されました。

その式辞の中で大森知事は、「感無量無辺の皇恩に頼るものにして、寵光山河を照し恵沢草木に及び防長二州は之がため一新紀元を画せる」「かくの如き光栄は決して一時の誇に非ずして百万県民が時々刻々念頭に

牢記して永遠に感恩報効の目標と為す」と述べています。こうして「五月二十九日」が山口県民の記憶の中にしっかりと刻み込まれることになったのです。

《行啓記念碑碑文》

大正十五年五月二十八日ヨリ三十一日ニ至ル四日間 皇太子殿下本県へ行啓アラセラルル二十八日二十九日ノ両日 鶴駕ヲ本県庁ニ駐メセラルル県民誠歡喜ニ堪ヘス二十九日午前九時前庭ニ於テ泰ク奉迎ノ式ヲ挙行ス 殿下ニハ露台ニ起立アラセラルル誠意ヲ嘉納シタマヘリ式ニ参列セシ県民代表者七千名咫尺ニ英姿ヲ仰キテ萬歳三唱ノ聲山河ニ震ヒ永遠ニ寵光ヲ荷フテ千載一遇ノ喜肺腑ニ銘ス美ニ昭代ノ盛事ニシテ県民ノ大慶ナリ因テ茲ニ記念ノ碑ヲ建テ以テ感恩載徳ノ微衷ヲ表ス

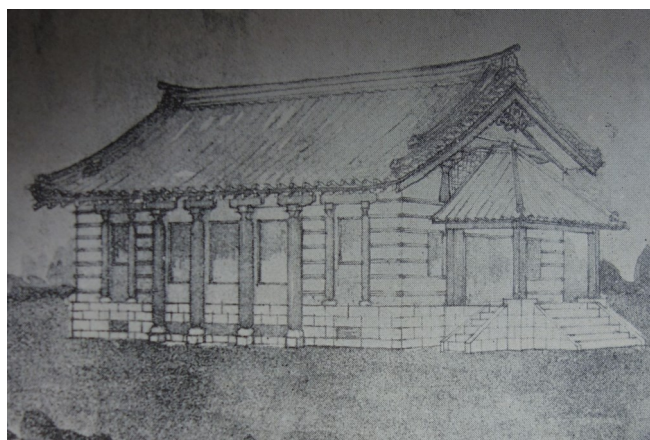
昭和二年三月 山口県知事正五位勲四等 大森吉五郎



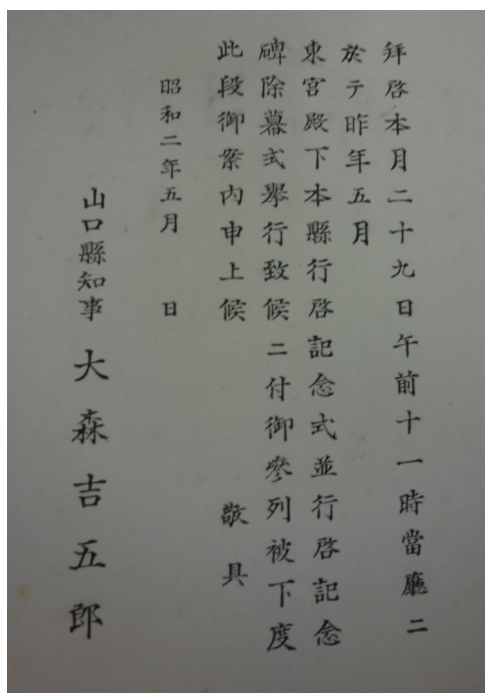
▲昭和10年5月29日の行啓記念式
(「行啓記念式・行啓記念碑除幕式一件」県庁戦前人事課B38)

《防長先賢堂と行啓記念図書館》

知事は除幕式の式辞で、行啓記念事業として、防長先賢堂と図書館の建設を手がけていること(ともに昭和3年竣工)を述べています。外観が特徴的な二つの建造物は、記念碑とあわせて、虎ノ門事件の教訓を念頭に置いた「思想善導」の流れに位置づけて考えることができるのかもしれません。



▲防長先賢堂完成予想図
(昭和2年11月「山口県立教育博物館第11回報告」一般郷土史料279)



▲「行啓記念式」「記念碑除幕式」への招待状
(「行啓記念式・行啓記念碑除幕式一件」県庁戦前B人事課38)